

## 1 日時

令和5年3月10日（金） 16時～17時

## 2 場所

神奈川県立がんセンター 管理研究棟5階 講堂

## 3 出席委員

- ・ 正木 忠彦 委員長（清水ヶ丘病院 病院長（医師））
- ・ 大塚 達生 委員（神奈川総合法律事務所（弁護士））
- ・ 加藤 節子 委員（神奈川県看護協会 医療安全・災害医療・感染症対策課 課長（看護師））
- ・ 天野 慎介 委員（一般社団法人全国がん患者団体連合会 理事長）
- ・ 中山 治彦 委員（神奈川県立病院機構 副理事長）

## 4 神奈川県立がんセンター出席者

- ・ 総長 古瀬 純司
- ・ 病院長 金森 平和
- ・ 副院長（医療安全管理責任者） 森本 学
- ・ 副院長 酒井 リカ
- ・ 副院長 岸田 健
- ・ 副院長兼看護局長 齊木 由紀子
- ・ 事務局長 天野 一
- ・ 医療機器安全管理責任者 森永 聡一郎
- ・ 医薬品安全管理責任者 岸本 有佳
- ・ 医療安全推進室副室長 今井 知子、原田 知彦
- ・ 特定課題推進担当部長 和田 篤
- ・ 副事務局長兼総務企画課長 田中 一朗
- ・ 薬剤科科長補佐 櫻井 学

## 5 議事概要

- 1) 委員会概要説明
- 2) 出席者紹介・委員長の選任
  - ・ 正木忠彦委員が、本委員会の委員長として承認された。
- 3) 病院紹介
  - ・ 金森病院長から病院の概要について説明が行われた。
- 4) 医療安全管理体制の説明
  - ・ 森本副院長（医療安全管理責任者）から下記の項目について説明が行われた。
    - (1) 神奈川県立がんセンター医療安全管理指針（組織体制、責任者、会議構成 等）
    - (2) 医療安全に関する研修の実施状況

(3) 医療安全に関する報告制度（インシデント・アクシデントレポート、内部通報制度 等）

(4) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等（適応外使用含む）の承認体制

#### 5) 質疑応答

- ・ 委員から医療安全の組織体制について、医療安全管理指針に記載のある組織図と説明に齟齬があるため更新が必要という意見があった。
- ・ 委員から安全管理の観点としてランサムウェア対策を含んだ情報管理についての質問があり、情報セキュリティ及び個人情報を管轄する別の管理会議があること、今後は神奈川県立病院機構本部が主導で情報セキュリティの体制整備を進めている旨の説明が行われた。
- ・ 委員から相談・苦情対応検討会議で意見を伝えた患者さんに不利益が被らない体制をどのように確保しているのかという質問があり、相談・苦情対応検討会議の構成員や報告方法や閲覧権限について説明が行われた。
- ・ 委員から画像レポートのダブルチェックの体制について質問があり、電子カルテと連動した機能（未読の依頼医及び責任者への通知機能）、医療安全推進室での確認体制、その他緊急時の対応方法について説明が行われた。
- ・ 委員から看護師の離職へのサポート体制について質問があり、離職率の実績、臨床心理士によるサポート体制等について説明が行われた。
- ・ 委員からインシデントレポートの提出方法や提出状況の説明に対し、医療安全の体制を発展させるためには、目標値を達成することが目的ではなく、活動を継続していくことが重要であるとの意見があった。
- ・ 委員からインシデント・アクシデントレポートの実績で患者誤認が多いことに対して質問があり、書類関連の事例が多かった旨の説明が行われた。
- ・ 委員から 15 年程度前に発生した医療事故への取組、その後の組織的な対応や継続した取組について、真摯に対応しているとの意見があった。
- ・ 委員から造影剤（ウログラフィン）の誤投与への対応方法について、医療安全対策マニュアル「危険薬の誤投与防止」への追記が必要という意見があった。

#### 6 監査結果・委員からの講評

- ・ 組織体制については、適切な体制が構築されていることが確認された。
- ・ 次回は以下の内容について確認し、より具体的な監査を実施していく方針とする。
  - ✓ ガバナンスの状況
  - ✓ インシデント・アクシデントレポートの数値や事例
  - ✓ 現場の医療安全への取組状況

#### 7 次回の開催予定

- ・ 次回は、令和5年9月頃に開催することが承認された。

以上